

広島県がん対策推進計画の目標と現状

1 全体目標

項目	計画策定時	現状	目標(H24)	
75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性	119.3人 ^⑱	117.3 ^⑲	10%減少(107.4)
	女性	60.0人 ^⑱	59.5 ^⑲	10%減少(54.0)
すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上				

2 個別目標

分野	項目	計画策定時	現状	目標(H24)		
がん予防	喫煙率	成人男性	32.9% ^⑱	—	30%以下(約1割減少)	
		成人女性	5.4% ^⑱	—	5%以下(約1割減少)	
	公共の場の禁煙・分煙	公共機関	95.2% ^⑰	96.8%^⑲	100%	
		学校	99.7% ^⑰	100%^⑲		
		病院	96.5% ^⑱	100%^⑲		
	禁煙支援プログラムを実施している市町数		17市町 ^⑰	—	全市町(23市町)	
	生活習慣の改善 ※健康ひろしま21(県健康増進計画)における目標値より	食塩摂取量	10.4g ^{⑮, ⑯}	—	9g未満	
		野菜摂取量	256g ^{⑮, ⑯}	—	350g以上	
		多量飲酒者の割合	成人男性	4.5% ^⑱	—	3.2%以下
			成人女性	0.9% ^⑱	—	0.2%以下
		日常生活における歩数	成人男性	7,487歩 ^{⑮, ⑯}	—	9,200歩以上
			成人女性	7,129歩 ^{⑮, ⑯}	—	8,300歩以上
運動習慣のある人の割合	成人男性	32.0% ^⑱	—	39%以上		
	成人女性	29.4% ^⑱	—	35%以上		
C型肝炎ウイルス検査受診率		28.2% ^⑭ ～ ^⑱ 累計	31.2% ^⑭ ～ ^⑲ 累計	50%以上(累積)		
早期発見	がん検診受診率の向上 (計画策定時及び現状数値は市町の実施するがん検診の受診率、現状の()内はH19国民生活基礎調査による受診率)	胃	11.7% ^⑰	10.6% ^⑲ (30.1%)	50%以上	
		肺	16.1% ^⑰	15.7% ^⑲ (22.7%)		
		大腸	13.6% ^⑰	13.2% ^⑲ (23.5%)		
		子宮	20.6% ^⑰	18.6% ^⑲ (23.6%)		
		乳	23.6% ^⑰	13.7% ^⑲ (19.8%)		
がん検診の精度管理・事業評価を行っている市町数	受託検診機関の体制の把握	7団体 ^⑰	8団体 ^⑱	全市町(23団体)		
	受診者データの把握	4団体 ^⑰	8団体 ^⑱			
	検診結果データの把握	5団体 ^⑰	6団体 ^⑱			
がん医療	乳がんに関して他の5大がんについても機能分担と医療連携推進のためのシステムを確立する					
	在宅における療養体制を整備し、住み慣れた家庭や地域での療養について選択できる患者を増加させる					
	がん診療連携拠点病院の機能強化	5大がんについての地域連携クリティカルパスの整備	—	1病院(乳がんについては「地対協乳がんWG」で作成済)(H21.3)	全拠点病院で整備	
		がん分野の認定看護師等の配置数	13人(H20.2) 複数配置する病院③	25人(H21.4) 複数配置する病院⑧	全拠点病院に複数配置	
緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師の配置数		8人(H20.2) 複数配置する病院②	15人(H21.4) 複数配置する病院③	全拠点病院に複数配置【3年以内】		
放射線腫瘍学会認定医配置数	15人(H20.2) 配置のある病院⑧	16人(H21.4) 配置のある病院⑨	配置数の増加			

分野	項目		計画策定時	現状	目標	
がん医療	がん診療連携拠点病院の機能強化	がん薬物療法専門医配置数	3人(H20.2) 配置のある病院③	6人(H21.4) 配置のある病院⑤	配置数の増加	
		各部門の専門医が集まり包括的に治療法を議論する組織(カンサーボード等)を設置する病院数	2病院⑱ (県立広島 呉医療センター)	10病院⑳	全拠点病院に設置	
		緩和ケア外来を設置している病院数	4病院⑱ (県立広島 呉医療センター, 東広島医療センター, 福山市民)	7病院(H21.4) (増加は広島市民 広島日赤 JA尾道)	全拠点病院に設置	
	二次医療圏ごとの機能強化	専門的な知識及び技能を有する緩和ケアチームを設置している医療機関数	広島	7病院⑱	7病院⑳	すべての二次医療圏に複数設置
			広島西	1病院⑱	1病院⑳	
			呉	3病院⑱	3病院⑳	
			広島中央	1病院⑱	1病院⑳	
			尾三	3病院⑱	3病院⑳	
			福山・府中	3病院⑱	3病院⑳	
		緩和ケアの知識・技能を修得している医師数 (研修会企画責任者となれる緩和ケア指導者研修修了者等)	広島	1人(H20.3)	4人(H21.4)	すべての二次医療圏で増加
			広島西	—	—	
			呉	—	1人(H21.4)	
			広島中央	—	1人(H21.4)	
	緩和ケアに関する基本的な知識を習得した医師数	尾三	—	1人(H21.4)	—	
		福山・府中	1人(H20.3)	2人(H21.4)		
備北		—	1人(H21.4)			
—		—	—			
参考指標	がん患者の在宅死亡率	—	—	36人(H21.3)	がん診療に携わるすべての医師が研修を受講	
		モルヒネ	10,393g⑱	10,057g⑲	—	
	医療用麻薬の消費量	オキシシドン	6,512g⑱	9,210g⑲	—	
		フェンタニル	378g⑱	408g⑲	—	
情報連携・相談支援	「相談支援センター」への国立がんセンターの相談員研修の受講者の配置		—	すべての拠点病院に配置済み	すべての相談支援センターに受講者を配置	
	統一的な公開基準に基づく拠点病院の治療成績(5年生存率)を公表する		基準作成のための検討チームの設立準備			
	患者団体等が主体的に関わる相談窓口の設置など、がん経験者の相談事業への参画を推進する		がん経験者による電話相談事業の開設など			
がん登録	標準登録様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数(200床以上の病院)		13施設/30施設 (43.3%)⑱	18施設/30施設 (60.0%) (H21.4)	80%(11施設増加) ※200床未満の病院にも実施を働きかける	
	院内がん登録を実施する医療機関のすべてのがん登録実務者に対する研修		拠点病院は最低1名受講済み	H20年度県医師会において講習会を2回実施(参加者:計93名)	すべてのがん登録実務者が研修を受講	
	地域がん登録のDCN(がん登録の精度指標:死亡情報で初めて把握された人の割合)		31.7%⑮	28.2%⑯	20%以下	
	3年以内に地域がん登録の遡り調査及び生存確認調査が行える体制を整備し、5年以内に5年生存率を算定する		H20年度は遡り調査を実施(2,252件調査票回収)			
	紙媒体と併せて電子媒体による地域がん登録の届出ができるようにするとともに、その集計結果を登録協力医療機関に還元する		電子媒体での届出は未対応 集計結果は電子データで医療機関に還元予定			

広島県がん対策推進計画の個別目標にかかるがん診療連携拠点病院の現況について

項 目		広島大学 病院	県立広島 病院	広島市民 病院	広島日赤 病院	JA広島 総合病院	呉医療 センター	東広島 医療 センター	JA尾道 総合病院	福山市民 病院	三次中央 病院
禁煙・分煙の 状況	敷地内全面禁煙			○	○		○			○	○
	施設内全面禁煙	○	○			○		○	○		
5大がんについて地域連携クリティカルパスの整備 ※ 乳がんについては地対協乳がんWGにおいて パスを作成済み。今後普及を図る。				整備済 (運用準備 中, 乳は地 対協作成パ スを運用中)					5大がん 整備済		
がん分野の認 定看護師等の 配置の状況	がん看護専門看護師	2									
	緩和ケア認定看護師	2	2	1	1	1	1			1	1
	がん化学療法看護認定看護師	2		1	1	1	1		1	1	
	がん性疼痛看護認定看護師		1				2	1			1
	乳がん看護認定看護師										
放射線腫瘍学会認定医		5	2	2	2	1	1	1		1	1
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医		1	1	2					1	1	
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医		1		2		1	1				
日本乳がん学会乳腺専門医		2	1	2	1					1	
日本病理学会病理専門医		1	2	1	1	1	2	1	1	1	
がんセンターボードの設置の状況		5大がん ほか	肝, 胃 大腸 肺ほか	5大がん ほか	肺, 肝 乳 消化管 (5大がん)	胃 大腸	すべての がん	胃, 肺 大腸 乳 ほか	肝, 胃 大腸 呼吸器 ほか	5大がん	肝, 胃 大腸 呼吸器 ほか
緩和ケア外来の設置			週2回	週1回	週1回		週2回	月2回	月2回	週1回	
(参考) 患者サロン・デイホスピス等の実施		○	○	○	○				○	○	○

平成21年4月1日時点